

PRESS RELEASE

報道関係者 各位

2026年7月28日（火）

財源ゼロ、若者流出、消えゆく文化——「利府うまうま祭」が挑む地域再生への挑戦 20年前に消えた子ども神輿の復活で、100年続く祭りと郷土愛を次世代へ繋ぐ

宮城県利府町の利府うまうま祭実行委員会は、2026年7月23日にクラウドファンディングサービス「CAMPFIRE」でプロジェクト「【利府うまうま祭】100年続く地域の祭りを共に育てたい」を開始し、支援受付をスタートしました。

本プロジェクトでは、宮城県利府町で財源ゼロから第2回利府うまうま祭を開催し、20年前に消えた「子ども神輿」を復活させ、地域文化の継承と若者流出の課題解決を目指します。

クラウドファンディング詳細：<https://camp-fire.jp/projects/956943/view>



クラウドファンディング概要

【利府うまうま祭】100年続く地域の祭りを共に育てたい

実施期間：2026年7月23日～2026年8月31日

目標金額：2,000,000円（最終ゴール5,000,000円）

クラウドファンディングの目的

第1回で約3,400人が集った利府うまうま祭を、一過性のイベントで終わらせず、町民主体の持続可能な文化として定着させます。利府町の「うまい(美味)」「うまい(巧い)」「うま(馬)」の3つの魅力を通じ、地域に根ざした文化を創造。石蟹カニラーメンや郷土料理「とってなげ」などの地元グルメ、伝統的な流鏝馬体験、地域の職人技を融合した祭りを100年続く伝統に。午年である2026年、馬文化を持つ利府町にとって特別な年に第2回を開催し、利府町の文化的な誇りを取り戻します。



主な取り組み内容

集まった資金は、20年前に消えた「子ども神輿」の復活と第2回利府うまうま祭の開催に充てます。会場設営、縁日の運営、流鏝馬大会の実施など、祭り全体の運営資金として活用。目標金額200万円でスタートラインに立ち、最終ゴール500万円で昨年同規模のフル開催を実現します。支援が集まるほど、お祭りの規模や機能を拡張していく仕組みです。

財源ゼロ、自腹で繋ぐバトン——消えかける「子ども神輿」と若者流出の危機

昨年、産声をあげた「うまうま祭」。第1回目は、補助金や地域おこし協力隊の力添え、地域の応援でなんとか開催資金を確保しました。しかし今年の第2回目は、使える補助金も財源も「まったくのゼロ」、完全にゼロからのスタートです。お祭りを継続するための資金が、今、1円もない状態。毎月の実行委員会の会議室代、6月末に利府町内へ全戸配布した案内チラシの費用まで、すべて実行委員会メンバーが自腹で賄っています。それでも諦められない理由がある。今回のうまうま祭全体で成し遂げたい大きなテーマ、それが「子ども神輿の復活」です。

利府町内には、かつて地域で担がれていた子ども神輿が今も4つ程度眠っています。今から20年ほど前、町の助成金を活用し太鼓、はっぴ、半纏を揃え、各子ども会の夏祭りでは子どもたちの元気な「ワッショイ!」の声とともに、お神輿が町を練り歩いていた。大人たちの笑顔があふれ、地域が一つになっていた、そんな時代がありました。しかし今、少子化や子ども会の消滅にともない、そのお神輿を担いでいるのはわずか2つの町内会だけ。残りの神輿は、出番を失ったまま暗い倉庫に眠っています。



これは単に「お祭りがなくなる」という問題だけではないと考えています。子どもの頃に地域のみんなに囲まれてお神輿を担いだ思い出、あの高揚感、大人たちが作ってくれたお祭りの熱量。それがあるからこそ、大人になったときに「自分を育ててくれた地元に恩返しをしたい」「利府町って、格好いいな、誇らしいな」という地域への誇り(シビックプライド)が生まれます。いま利府町は若者の流出という大きな課題に直面しています。子どもの頃に

地域と交わる原体験がないまま育ち、ただ「住むだけの場所」になってしまえば、若者が町を出ていく流れを止めることはできません。

いま動かなければ、利府町の伝統も、歴史も、そして子どもたちの郷土愛も、本当に途絶えてしまう。そんな強い危機感を感じています。眠っている子ども神輿を預かり、この祭りで毎年子どもたちが主役となってお神輿を担げる文化を作りたい。そして、このお祭りを100年続く、利府町の新たな伝統にしていきたいと思います。

【イベント概要】

開催日: 2026年10月4日

開催場所: 十符の里パーク(利府町総合体育館・多目的運動場)

URL: <https://www.instagram.com/rifuumaumafes/>

【本件の問い合わせ先】

担当者名: 石部・三浦(利府うまうま祭実行委員会)

電話番号: 090-6456-0213(石部) 090-3121-8642(三浦)

メール: rifuumaumamatsuri@gmail.com